

平成27年7月1日

備前東地区総体表彰状伝達式

まず、入賞した選手の皆さん、県大会出場を決めた選手の皆さん、おめでとうございます。県大会での活躍、期待しています。

そして、すべての選手の皆さん、よく頑張ってくれました。教頭先生と手分けして応援に行きましたが、余裕のゲームもありました。苦しい試合もありました。手に汗握るシーソーゲームもありました。

しかし、どの試合もみんな勝とうと一生懸命で、その一生懸命の中で、思わず拍手したくなるナイスシュートがあり、ナイスサーブやナイスリターンがあり、もう10日も前のことなのに、とても気持ちの良い1日だったなあと、今、思い出しています。

部活動に関連して二つお話をします。

一つ目、オリンピック選手がオリンピックの終了後、ものすごい精神病になることがあります。病名をPOD(ポスト・オリンピック・デプレッション)と言います。オリンピックを目標に一生懸命頑張ってきて、終わった後、抜け殻のようになる病気です。

治す方法はただ一つ、新しい目標を作るしかないそうです。フィギュア・スケートの浅田真央選手の復帰戦が10月3日、ジャパンオープンに決まりました。しばらく休んでいましたが、新しい目標ができたんですね。県大会や次の大会が目標の人もいるでしょう。1・2年生の人は次の新人戦でしょうか。3年生は進路が次の目標になる人もいるでしょう。目標ができれば頑張れます。それぞれの新しい目標を持ち、それを目指して頑張ってくださいね。

二つ目、プロ野球に野村克也さんという名監督がいます。私にも参考になる言葉を沢山言われていて、参考にしています。その中に「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし。」というのがあります。元々は江戸時代の大名松本清の言葉で、「たまたま勝ったはあっても、たまたま負けたはなく、負けた時には必ず理由がある。」という意味です。教頭先生の通信に「テストはテスト後が大事」とありましたが、「試合も試合後が大事」です。練習なのか、作戦なのか、精神状態なのか、チームワークなのか、修正すべきはしっかり修正して、次の試合に臨んでください。